

**ネットワーク型基幹研究プロジェクト**  
**「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」基本計画**

令和4年4月1日  
人間文化研究機構

**【プロジェクトの概要等】**

**① プロジェクトの概要**

歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業（以下「本事業」という）は、地域社会を機軸とした歴史文化資料保全に取り組んできた人間文化研究機構（以下「機構」という）が国立歴史民俗博物館（以下「歴博」という）を主導機関として、東日本大震災以来文理横断型の実践的防災学を推進してきた東北大学、及び地域歴史資料学の確立に向けて全国の地域歴史資料保全活動や震災資料の収集保存支援活動の先導的立場を担ってきた神戸大学とともに、本事業に関する基本協定に基づき一体となって推進する。

本事業は、機構、東北大学及び神戸大学（以下「連携3機関」という）が事業の中核となり、日本各地の大学や地域に設立されている歴史資料ネットワーク（以下「資料ネット」という）等と連携して、災害時におけるレスキュー活動を含む歴史文化資料の保存・継承を実施する相互支援体制を構築し、地域の歴史文化資料調査・保存研究活動を軸とした全国広域ネットワークを構築するとともに、歴史文化研究分野における教育・人材育成促進に向けて環境整備を行う。また、これまで連携3機関が中核となって推進した高度な研究蓄積と多様なネットワークを活かして新たな地域社会の歴史文化研究を推進し、その歴史文化の基盤を、研究者だけでなく地域全体で認識する。併せて、資料保全の実践を通して地域社会の課題を抽出し、多様な資料の持続的な保存・継承・活用に向けた基盤構築を進め、歴史文化の継承と創成を担う研究・教育推進拠点を形成する。ネットワークを活用した研究成果を元に、全国の資料ネット等と連携して自治体や社会との協働・共創を推進し、地域と歴史文化の新たな関係を提起する。さらに、情報発信として展示活動を実施するとともに機構や機構内機関の情報基盤を中核としたデータ連携を促進し、新たな地域研究を担うプラットフォームを構築する。これにより、地域歴史文化の構築研究に資するとともに、資料保全の新たなあり方や、大学共同利用機関法人として、それらの地域文化基盤を研究者と地域で共有する事業へとつなげていく。さらに、研究成果の教育活動への活用を進めるとともに、地域を軸とした成果の発信を推進する。

**② プロジェクトの統括、運営体制**

**(1) 事業の統括**

本事業は、機構が統括する。

**(2) 運営体制**

本事業は、本基本計画に基づき実施する。

**①事業の中心拠点等**

本事業は、人間文化研究機構国立歴史民俗博物館（歴博）、東北大学災害科学国際研究所及び神戸大学大学院人文学研究科を中心拠点（以下「中心拠点」という）として実施し、歴博が主導機関となる。中心拠点は基本協定に基づき、連携3機関それぞれにおける本事業の関連組織の連携・協力を得て、事業を実施する。

## ②事業の統合的な推進

本事業は、連携3機関による連携協議会を設け、相互の協議に基づき運営する。

## ③ネットワーク構築に向けた運営

本事業は、地域歴史資料保全に関わる全国広域ネットワークを構築するため、大学や資料ネットとの相互連携を推進するためのフォーラムや研究集会を企画・運営する。あわせて、連携3機関それぞれが中核となって各地域における課題や大規模災害への備えを協議するための地域別協議会を企画・運営し、これらの枠組みを基盤とした研究・教育活動を実施する。

## ③ 研究テーマ・役割

- ・機関名：人間文化研究機構（機構）
- ・研究テーマの概要・目的：地域社会における多様な歴史文化資料の保存・継承・活用を可能にする地域資料研究基盤の構築にむけ、地域の歴史文化を伝えるモノを資料として見出すための検討を進める。特に、被災物や近現代資料などを物理的に保存・継承する保存研究を進めるとともに、膨大な地域情報をデジタルデータとして保存し、研究者のみならず国内外のあらゆる人びとが活用可能なデータプラットフォームを構築する。

- ・機関名：神戸大学
- ・研究テーマの概要・目的：阪神・淡路大震災での歴史資料保全活動を起点として、蓄積してきた地域社会との協働・共創による地域歴史文化の創成研究の成果を活かし、地域社会との協働・共創に向けた方法論の構築を行う。地域社会とともに進めてきた資料保全活動の実践成果より新たに析出されてきた課題に、自然災害や地域変容など社会の変容過程で表出する多様な資料の存在がある。このような多様な資料も含む地域実践をとまなう文化継承のあり方を検討することで、社会変容期における地域資料のあり方を見直すとともに、多様な資料を通じた新たな地域社会像を見出す地域研究を推進する。

- ・機関名：東北大学
- ・研究テーマの概要・目的：東日本大震災以降の災害対策を通して形成した災害関連分野および諸地域との連携により、災害後の地域社会像を捉えるための文理融合型の研究を含めた歴史文化研究を推進する。また、社会教育・市民活動との協働による学術基盤整備および市民参加型の研究手法を検討し、歴史文化資料に関わる研究成果を地域と共有することによる新たな学術基盤を整備することで、歴史文化資料の市民科学（シチズンサイエンス）を推進する。

## ④ 期待される学術的研究成果とその学術的・社会的意義

本事業は、全国各地における歴史文化資料保全活動を通して地域社会との共創を実現し、社会の多様性を踏まえた歴史文化のあり方を社会に向けて提起することを目的とする。この目的を達成するために、全国の大学等研究機関と連携して各地に資料保全を担うための地域拠点的形成し、その拠点を基盤に歴史文化資料を用いた地域研究や教育活動基盤を確立することが求められる。また、各地の資料ネットと連携することで地域によって異なる多様な歴史文化資料の保全を可能とし、自然災害等発生時における相互支援体制の充実もはかっている。このため、各地域の実情に応じた資料保全のモデル構築に寄与することも学術的・社会的に重要な意義を持つことになる。

また、ネットワーク構築による連携関係を活かした研究・教育活動を推進し、データ連携を含む全国の資料情報や研究動向、地域的課題を共有するための研究・教育基盤を形成することで、歴史文化資料の多様な側面を明らかにすることができ、高度な学際研究・新分野の創成に結び付けることが期待できる。さらに各地域で蓄積した資料情報を相互連携するデジタルプラットフォームを構築し、人文情報学的な進展もはかる。この学際研究とプラットフォーム構築により、歴史文化研究の基盤（人・データの両面）の形成が期待でき、社会的意義は大きい。

大学や資料ネットと連携して地域住民を含む多くの対象を想定した教育実践の展開は、地域における持続的な歴史文化の基盤を形成し、その担い手を養成することが期待でき、大学教育における新たな教育プログラムの確立に寄与する。各地域の特性を踏まえて歴史文化資料の保存や継承、活用の取り組みを各地の大学・資料ネットを中核として地域主体で推進することは、歴史文化を中核とした社会共創の実践として大きな社会的意義を持つ。また、成果の発信として展示活動や現地報告会等の開催を積極的に実施することで社会との双方向的な交流を可能とし、研究成果を地域社会の担い手と議論・共有することで地域社会を主体とした地域歴史文化研究の新たな形態を創出することも期待される。

#### ⑤ 若手研究者等人材育成への貢献

本事業では、地域社会の歴史文化を担う人材育成を教育実践の目的として掲げており、大学や資料ネットと連携した多様な担い手の創出に向けた取り組みを重視している。特に、地域社会で資料保全を実践する担い手育成に向け、大学教育における教育プログラムの普及・定着を各地の大学と連携して推進し、市民活動を含む多様な人材育成への貢献を果たす。また、大学や資料ネットとの連携を通して各地域における調査活動を若手研究者と協働して推進し、地域社会における課題抽出や社会との対話の方法を学ぶ機会を創出し、新たな地域研究を推進する基盤を形成する。あわせて、若手研究者のための地域歴史文化資料に関わる研究活動を積極的に推進し、研究活動の場を創出するとともに国内に向けた研究成果発信を支援する。

#### ⑥ 達成目標

1. 地域歴史文化を担う人材育成・教育プログラムの普及・定着
2. 展示活動を通じた成果の発信・共有と教育活用
3. 近現代資料論の体系化

#### ⑦ 6年間のロードマップ

※ 主要な研究成果の発信（国際会議、成果物等）を中心に記載

年度	取組内容
令和4年度	<p>◆全体</p> <p>全国の資料ネットとの研究交流集会の開催                      地域歴史文化大学フォーラムの開催                      国際連携強化のための国際シンポジウムの開催</p> <p>◆機構</p> <p>首都圏における大学連携協議会の開催                      地域資料保存・継承に関わる研究会の開催</p>

	<p>各地の資料ネット・大学・自治体等と連携したワークショップの開催</p> <p>◆神戸大学</p> <p>西日本における大学連携協議会の開催</p> <p>兵庫県内における地域連携協議会の開催（報告書の公表）</p> <p>学生による震災展示の開催、図録等の刊行</p> <p>◆東北大学</p> <p>学術報告書の公表（逐次公開版含む）</p> <p>北日本における大学連携協議会の開催</p>
令和5年度	<p>◆全体</p> <p>全国の資料ネットとの研究交流集会の開催</p> <p>地域歴史文化大学フォーラムの開催</p> <p>◆機構</p> <p>首都圏における大学連携協議会の開催</p> <p>地域資料保存・継承に関わる研究会の開催</p> <p>◆神戸大学</p> <p>西日本における大学連携協議会の開催</p> <p>兵庫県内における地域連携協議会の開催（報告書の公表）</p> <p>文化財防災研修会の開催（県内自治体関係者を対象）</p> <p>近現代資料に関する現地報告会の開催（西日本関連地域等）</p> <p>◆東北大学</p> <p>宮城資料ネットおよび関連学会との共催による宮城資料ネット設立 20 周年に関する会議</p> <p>学術報告書の公表（逐次公開版含む）</p> <p>北日本における大学連携協議会の開催</p>
令和6年度	<p>◆全体</p> <p>全国の資料ネットとの研究交流集会の開催</p> <p>地域歴史文化大学フォーラムの開催</p> <p>◆機構</p> <p>首都圏における大学連携協議会の開催</p> <p>地域資料保存・継承に関わる研究会の開催</p> <p>歴博における企画展示の開催</p> <p>◆神戸大学</p> <p>西日本における大学連携協議会の開催</p> <p>兵庫県内における地域連携協議会の開催</p> <p>阪神・淡路大震災 30 年に関わる会議の開催</p> <p>阪神・淡路大震災 30 年にむけた資料展示の開催、図録等の刊行</p> <p>◆東北大学</p> <p>学術報告書の公表（逐次公開版含む）</p> <p>北日本における大学連携協議会の開催</p>
令和7年度	<p>◆全体</p>

	<p>全国の資料ネットとの研究交流集会の開催  地域歴史文化大学フォーラムの開催</p> <p>◆機構</p> <p>首都圏における大学連携協議会の開催  地域資料保存・継承に関わる研究会の開催  前年度の展示成果を活用した巡回展の開催</p> <p>◆神戸大学</p> <p>西日本における大学連携協議会の開催  兵庫県内における地域連携協議会の開催  地域文化・災害文化を担う人材育成・教育プログラムの成果物（教材等）の作成</p> <p>◆東北大学</p> <p>学術報告書の公表（逐次公開版含む）  北日本における大学連携協議会の開催  東日本大震災 15 年に関わる会議</p>
令和 8 年度	<p>◆全体</p> <p>全国の資料ネットとの研究交流集会の開催  地域歴史文化大学フォーラムの開催</p> <p>◆機構</p> <p>首都圏における大学連携協議会の開催  地域資料保存・継承に関わる研究会の開催  前年度の展示成果を活用した巡回展の開催</p> <p>◆神戸大学</p> <p>西日本における大学連携協議会の開催  兵庫県内における地域連携協議会の開催  地域文化・災害文化を担う人材育成・教育プログラムの成果物（教材等）の作成</p> <p>◆東北大学</p> <p>学術報告書の公表（逐次公開版含む）  北日本における大学連携協議会の開催</p>
令和 9 年度	<p>◆全体</p> <p>全国の資料ネットとの研究交流集会の開催  地域歴史文化大学フォーラムの開催  学術刊行物の刊行</p> <p>◆機構</p> <p>首都圏における大学連携協議会の開催  地域資料保存・継承に関わる研究会の開催  地域歴史文化資料に関する刊行物の刊行</p> <p>◆神戸大学</p> <p>西日本における大学連携協議会の開催</p>

	<p>兵庫県内における地域連携協議会の開催</p> <p>人文学研究科地域連携センター設立 25 年に関する地域連携協議会の開催 (自治体等の連携、人材育成・教育プログラムの総括・検証、報告書の公表)</p> <p>◆東北大学</p> <p>学術報告書の公表 (逐次公開版含む)</p> <p>北日本における大学連携協議会の開催</p> <p>東日本大震災をふまえた歴史文化資料に関わる国際会議</p>
--	---